

緑鯨城会便り

第77号 (30周年記念特集号)

ふれあい

令和2年3月



本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする



発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会

名古屋市高年大学鯨城学園

編集 | 緑鯨城会 広報委員会

緑鯨城会30周年記念行事のお知らせ

日 時：令和2年4月8日（水） 10:00～16:00

会 場：緑文化小劇場

☆ 30周年記念式典 ・ 令和2年度緑鯨城会総会

☆ 記念アトラクション（2部構成 13:00～15:30）

1部 アトラクション（同好会）



銭太鼓・フラダンス・健康体操・オカリナ・リズム体操・うた声サロンみどり

2部

歌声玉手箱



歌は世につれ、世は歌につれ、思い出の曲を共に歌い、楽しい一時を…
笑顔と元気で緑鯨城会の輪を広げ、地域の絆を深めていきましょう！



目 次

表 紙 …「滝の水公園・令和初日の出」	1
30周年記念行事のお知らせ	2
目 次	3
会長挨拶 緑鯢城会30周年を迎えて	4
緑鯢城会30年のあゆみ	5
〃	6
〃	7
〃	8
〃	9
緑鯢城会歴代会長一覧	10
趣味の作品展30年のあゆみ	11
同好会30年のあゆみ	12
平成22～30年度会長寄稿	13
〃	14
〃	15
〃	16
〃	17
30周年記念事業実行委員寄稿	18
〃	19
〃	20
〃	21
〃	22
〃	23
〃	24
16区フェスティバル・大須演芸場寄席鑑賞会	25
雑巾ボランティア活動	26
記念行事アトラクション出演同好会の紹介	27
〃	28
〃	29
短歌・俳句・川柳・スマホ講習会のお知らせ	30
運営委員会だより（11月～1月）	31
自由投稿・同好会投稿	32
〃	33
スマホ・パソコンでみる緑鯢城会ホームページ 編集後記	34

緑鯨城会 30 周年を迎えて



会長 30 期 地域A 近藤比呂史

ここに緑鯨城会が今年度創立 30 周年を迎えることが出来たのは、諸先輩を始め、全会員の皆様のご活躍ご協力と学園・鯨城会関係者及び行政、社協関係者の皆様並びに地域の皆様方のご指導、ご支援の賜物と深く感謝しております。

今回は昨年 1 月発足の 30 周年記念事業準備委員会、4 月から移行の実行委員会での検討協議を度重ねた結果、先ず、20 周年以来の「緑鯨城会 30 年の歩み」を、とり纏めることになりました。

それには役員各自の担当分資料に基づき時系列順に重要事項を抽出、最終的なまとめを実行委員長に委ね、完成することができました。30 年の歴史に触れることで、16 の区会中会員数が最大の我が緑鯨城会には、多士済々その道の達人も多く、優秀な人材も豊富であり、特に現在の「趣味の作品展」、「同好会」に反映されていることが良く理解できました。

次に記念植樹か記念品かにするかを役員会で協議、運営委員会での承認を得て、地元名産の絞りの「いっぴん」、を記念品とすることになりました。今回は勿論、オール手づくりの「串花絞りオリジナル大判ハンカチ（バンダナにも使用できる）」を、今年 1 月絞り染め

同好会のメンバーに加え、女性 4 名男性 2 名の役員・運営委員も絞り染め作業に参加しました。

完成までの作業工程を考えれば、なるほど、市販の手づくり製品の高価な理由が理解できました。必ずや、会員の皆様に喜んで頂けるものと確信しております。

更に、昨年 10 月に開催しました第 24 回趣味の作品展に「絞りトークショー」をお願いしましたところ、初の試みでしたが大好評でありました。

また、作品展特集号とした広報誌「ふれあい 76 号」の全面カラー化への初挑戦などを運営委員会承認の下に、同好会代表を始め会員の皆様のご協力を得ながら、企画実施して参りました。

これも結果、大好評でありました。

関係セクションの方々に感謝しております。

そして来る 4 月 8 日（水）の式典、総会後の 30 周年記念イベントでは、多くの会員の皆さんの楽しい思い出づくりの為、できるだけ多くの会員にステージにあがって頂き、多くの会員、友人、地域のお仲間と共に大いに楽しんで頂き、感動を味わって頂けることを、心より願っております。





緑鯨城会 30年のあゆみ

30周年記念事業実行委員会

- 昭和 63 年 区会（緑鯨城会）発足準備始まる 責任者として野口秀夫氏選出
- 平成元年 4 月 区会（緑鯨城会）創立のための相談会開催（緑区役所に 25 名参加）
- 5 月 トータスランドにて設立検討会を総会に切り替え。
緑鯨城会結成。（29 名出席）
平成元年 5 月 29 日を緑鯨城会創立日とする。
- 7 月 初代会長選出 那須一雄氏就任
- 平成 2 年 3 月 緑鯨城会会則制定（第 1 条～第 10 条、付則）
- 4 月 第 2 回緑鯨城会総会開催
- 平成 4 年 4 月 緑鯨城会運営組織
会長、副会長、書記、会計、監査、相談役、幹事（期別）
- 6 月 サークル活動準備始まる
鉢物盆栽、陶芸、日本画、朝の散歩会、卓球、グランドゴルフ
- 平成 6 年 4 月 緑鯨城会運営組織
会長、副会長、書記、会計、監査、名誉会長
広報委員、行事委員、サークル委員、期別幹事、地区委員
- 10 月 広報誌「ふれあい」B5 版創刊号発行
- 平成 8 年 4 月 緑鯨城会総会開催 会長に初めて女性が選出される 鬼頭美代氏 就任
- 10 月 第 1 回作品展開催 開催場所 緑ふれあい広場会館
出展数 135 点 来場者 150 名 出展作品 鉢物盆栽、陶芸、絵画、書道
- 平成 9 年 11 月 第 2 回作品展開催 開催場所 緑ふれあい広場会館
- 平成 10 年 11 月 第 3 回作品展開催 開催場所 緑区役所第 2 会議室
- 平成 11 年 10 月 広報誌「ふれあい」B5 版から A4 版にサイズ変更
- 11 月 第 4 回趣味の作品展開催 開催場所 緑区役所講堂（創立 10 周年記念）
- 平成 13 年 5 月 緑鯨城会総会開催 女性 2 代目会長 水戸和子氏就任（市長選挙のため 5 月開催）
会長はじめ役員、委員に女性の進出目立つ
- 平成 14 年 7 月 ボランティア活動に関するアンケート調査実施
回答数 108 名/186 名 ボランティア活動意思あり（52%）
カラオケ愛好会発足

- 平成15年 3月 雑巾ボランティア、第1回目の寄贈：コジマ会老健みどりへ150枚
- 平成15年 4月 緑鯨城会総会開催 女性3代目会長 舟橋一子氏就任
ボランティア委員会設置
- 4月 緑鯨城会運営組織
会長、副会長、書記、会計、会計監査、鯨城会幹事
広報委員会、行事委員会、期別委員会、ボランティア委員会
※役員、委員選出基準：入会后3年とする（除く期別）
- 5月 「緑ふれあい広場」清掃ボランティア始まる
- 6月 ボランティア保険加入始まる
「ははの箱」（緑区歯科医師会）助成金受領
ボランティアベスト（鯨城会ネーム入り）着用始まる
カラオケ同好会ボランティア「コジマ会みどり」で始まる
- 平成16年 3月 「緑ふれあい広場」前庭に15周年記念樹植樹（金木犀）
- 4月 緑鯨城会運営組織
会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査
行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別委員会
※書記を総務に変更し、増員と職務内容細分化
- 5月 **緑鯨城会創立15周年**
- 12月 新潟中越地震義援金寄付（35,853円）
- 平成17年 4月 緑鯨城会運営組織
会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査
行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別幹事
※期別委員会を期別幹事に変更
- 7月 「かきつばたの里」喫茶ボランティア活動始まる
- 9月 平成4年～11年までの「活動計画資料集」（復刻版）作成なる
緑鯨城会ボランティア団体として「ボラネットみどり」に加入
- 平成18年 2月 緑社会福祉協議会よりボランティア活動地域福祉功労者として2名
表彰される
荒川艶子氏（10期）水戸和子氏（11期）
- 4月 緑鯨城会運営組織
期別委員会を再配置
- 11月 広報誌「ふれあい37号」の表紙カラー印刷となる
- 平成19年 7月 在校生に対し第1回区会説明会開催される
- 平成20年 2月 雑巾寄贈1,000枚達成
- 3月 緑鯨城会会員数、初めて300名超（309名）となる

- 平成20年 6月 「緑ふれあい広場」解体に伴い15周年記念樹（金木犀）成海神社境内
に移植
- 11月 第12回趣味の作品展に、パソコンアート部門新設
作品展で緑区老人クラブ連合会と交流
- 平成21年 3月 「緑ふれあい広場」廃止
役員・運営委員会は、徳重コミセンへ、清掃ボランティア活動は大高緑地公園へ
- 平成21年 4月 緑市民病院で喫茶ボランティア始まる
大高緑地公園で清掃ボランティア始まる
- 5月 **緑鯨城会創立20周年**
- 10月 第14回趣味の作品展オープンカフェ開設好評
扇川クリーンキャンペーン実施（20周年記念事業）
- 11月 広報誌「ふれあい46号」発行（20周年記念号）
- 平成22年 1月 大須演芸場観劇・懇親会（20周年記念事業）
- 2月 緑社会福祉協議会より、地域福祉事業功労者として3名表彰される
水戸和子氏（11期）伊藤昇治氏（16期）熊田克己氏（18期）
- 11月 第15回趣味の作品展に都都逸、短歌・俳句部門に川柳を加える
甲冑三領初出展
- 平成23年 4月 緑鯨城会総会会場、緑区役所から緑文化小劇場に変更
清掃ボランティア活動 大高緑地公園から新海池公園に変更
- 10月 東日本震災義援金寄付（49,078円）
- 平成24年 5月 清掃ボランティア活動 要池公園（月1回）始まる
- 平成25年 6月 同好会「健康麻雀の会」発足
- 11月 名古屋市長より「民間福祉事業功労者」として、緑鯨城会感謝状拝受
- 平成26年 3月 緑鯨城会会員数387名（過去最多）となる
- 5月 **緑鯨城会創立25周年**
- 平成27年 2月 徳重地区会館にてボランティアフェスティバル参加
- 3月 緑多文化交流会ボランティア参加
広報誌「ふれあい」配布者会議実施
- 6月 ウォーキング同好会、ボーリング同好会発足
- 10月 第20回趣味の作品展「緑区区民まつり協賛事業」となる
大高緑地公園プラパンコーナー大好評
- 平成28年 6月 健康体操同好会発足
- 平成29年 1月 絞り染め同好会発足
- 2月 雑巾ボランティア活動、緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受
- 7月 役員会・運営委員会会場、徳重コミセンから片平ふれあいセンターに変更

- 平成 29 年 10 月 緑市民病院よりボランティア活動に対し「感謝状」拝受
- 12 月 第 1 回 16 区フェスティバル参加
- 平成 30 年 3 月 緑市民病院に車いす 2 台贈呈
緑鯨城会ホームページ休止（不正アクセスによる）
- 平成 31 年 4 月 魅力向上委員会発足
鯨城会・緑鯨城会ホームページリニューアル
再入学者の期別変更についての取り決めに運営委員会で承認
- 令和元年 5 月 **緑鯨城会創立 30 周年**
緑鯨城会創立 30 周年記念事業実行委員会発足
「わんぱく相撲・世代間交流イベント」ボランティア（主催：名古屋青年会議所）に初参加
- 7 月 みどり英会話同好会発足
同好会 郷土の歴史を楽しむ会発足
- 8 月 健康太極拳同好会発足
- 9 月 30 周年記念事業 運営委員会で承認
- ① 趣味の作品展（30 周年記念）
- ② 30 年史編纂（ふれあい 77 号：30 周年記念特集号）
- ③ 30 周年記念式典・記念アトラクション 2 部構成（同好会＆歌の玉手箱）
- 10 月 第 24 回趣味の作品展開催（30 周年記念）
- 11 月 第 2 回 16 区フェスティバル参加
- 12 月 運営委員会だよりを、毎月ホームページに掲載（会員情報共有と迅速化）
広報誌「ふれあい 76 号」初のオールカラー印刷版発行
雑巾ボランティア活動、緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受
- 令和 2 年 1 月 30 周年記念品「絞りのハンカチ」を、絞り染め同好会が制作協力
- 3 月 広報誌「ふれあい 77 号：30 周年記念特集号」発行

緑鯨城会 30 周年記念品

絞り染め同好会制作

「串花絞りオリジナル大判ハンカチ」



【参考文書】

広報誌「ふれあい」 創刊号～第77号

「活動計画資料集」 （復刻版）平成4年～平成11年

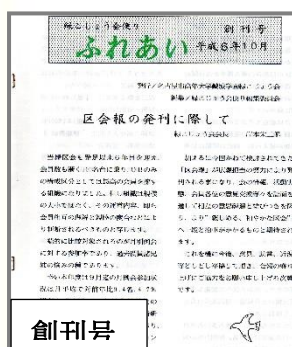
「年次報告書」 平成12年～平成22年

参考文書を実行委員会で分読し、活動実績の確認に手間取りながらも「30年のあゆみ」を編纂致しました。

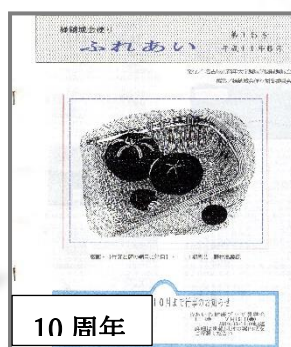
慎重に取り組みましたが、掲載内容に誤認等がありましたら、ご容赦下さい。

尚、お気づきの点がございましたら、加筆・修正をさせていただきたいと思いますので広報委員会まで、連絡いただきますようお願い致します。

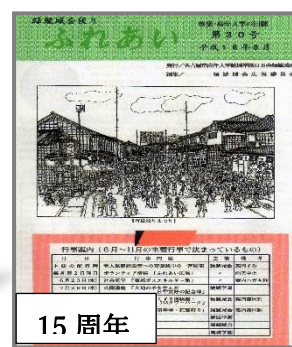
アニバーサリー広報誌 「ふれあい」



創刊号



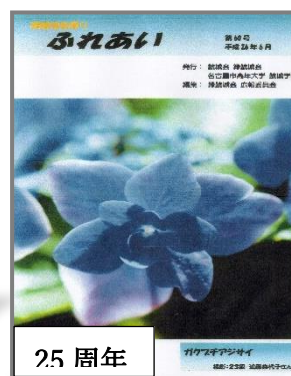
10周年



15周年



20周年



25周年



30周年

緑鯨城会30周年、礎を築かれた先輩の皆様にリスペクト



緑鯨城会歴代会長一覧

年 度	氏 名	期別	学 科	総会開催日	総会会場	会員数	役員会会場
平成元年	那須一雄	2	文化	1989/5/29	トータスランド	29	
平成2年	那須一雄	2	文化	1990/4/		42	
平成3年	那須一雄	2	文化			55	
平成4年	那須一雄	2	文化	1992/4/15	区役所講堂	80	
平成5年	那須一雄	2	文化	1993/4/7	〃	96	
平成6年	岸本榮二郎	4	生活A	1994/4/12	〃	108	緑ふれあい広場
平成7年	須藤弥三郎	5	生活B	1995/4/21	〃	112	〃
平成8年	鬼頭美代	6	生活B	1996/4/22	〃	130	〃
平成9年	荒川廣海	7	園芸	1997/5/3	〃	142	〃
平成10年	今井直次	8	園芸	1998/4/17	〃	164	〃
平成11年	石川吾一	10	園芸	1999/4/23	〃	184	〃
平成12年	石川吾一	10	園芸	2000/4/14	〃	177	〃
平成13年	水戸和子	11	生活B	2001/5/10	〃	184	〃
平成14年	佐藤敏彦	12	文化A	2002/4/9	〃	186	〃
平成15年	舟橋一子	14	生活B	2003/4/17	〃	220	〃
平成16年	岩崎修身	15	園芸	2004/4/7	〃	247	〃
平成17年	淡川 聰	16	美術	2005/3/25	〃	270	〃
平成18年	佐藤敏之	17	文化A	2006/4/5	〃	285	〃
平成19年	熊田克己	18	文化B	2007/3/17	〃	294	〃
平成20年	馬越 求	19	福祉	2008/3/16	〃	309	〃
平成21年	伊藤一夫	20	国際	2009/3/20	〃	339	徳重コミセン
平成22年	河合俊彦	21	環境	2010/4/11	〃	355	〃
平成23年	尾藤宗男	22	地域	2011/4/5	緑文化小劇場	358	〃
平成24年	小玉正氣	23	地域	2012/4/4	〃	353	〃
平成25年	伊藤文雄	24	園芸	2013/4/4	〃	376	〃
平成26年	近藤仙治	25	環境	2014/4/3	〃	387	〃
平成27年	山本捷一	26	地域	2015/4/3	〃	371	〃
平成28年	磯部 勝	27	国際	2016/4/22	〃	380	〃
平成29年	花井興亜	28	環境	2017/4/5	〃	354	片平ふれあいS
平成30年	原田良昭	29	地域B	2018/4/11	〃	356	〃
平成31年	近藤比呂史	30	地域A	2019/4/10	〃	312	〃



趣味の作品展30年のあゆみ

年 度	作 品 展	実行委員長	作品展開催日	開催場所	出展数	来場者
平成元年						
平成2年						
平成3年						
平成4年						
平成5年						
平成6年						
平成7年						
平成8年	第1回秋の作品展	牛田正美	10/28～10/29	緑ふれあい広場	135	150
平成9年	第2回秋の作品展	荒川廣海	11/15～11/16	緑ふれあい広場	142	350
平成10年	第3回趣味の作品展	石川 吾一	11/4～11/5	緑区役所会議室	196	280
平成11年	第4回趣味の作品展	増原美恵子	11/23～11/24	緑区役所講堂	300	300
平成12年	第5回趣味の作品展	水戸和子	H13/1/27～28	〃	330	300
平成13年	第6回趣味の作品展	佐藤敏彦	H13/12/8～9	〃	220	200
平成14年	第7回趣味の作品展	森 芳男	11/3～11/4	〃	249	269
平成15年	第8回趣味の作品展	岩崎修身	12/20～12/21	〃	427	367
平成16年	第9回趣味の作品展	淡川 總	11/20～11/21	〃	397	491
平成17年	第10回趣味の作品展	佐藤敏之	12/24～12/25	〃	271	491
平成18年	第11回趣味の作品展	大橋博治	12/23～12/24	〃	406	376
平成19年	第12回趣味の作品展	馬越 求	11/8～11/9	〃	362	505
平成20年	第13回趣味の作品展	伊藤一夫	10/9～10/10	〃	225	525
平成21年	第14回趣味の作品展	河合俊彦	10/10～10/11	〃	322	600
平成22年	第15回趣味の作品展	尾藤宗男	11/27～11/28	〃	348	580
平成23年	第16回趣味の作品展	小玉正氣	9/23～9/24	〃	356	580
平成24年	第17回趣味の作品展	伊藤文雄	9/15～9/16	〃	331	641
平成25年	第18回趣味の作品展	近藤仙治	H26/2/22～23	〃	242	566
平成26年	第19回趣味の作品展	山本捷一	10/25～10/26	〃	245	574
平成27年	第20回趣味の作品展	磯部 勝	10/24～10/25	〃	283	613
平成28年	第21回趣味の作品展	花井興亜	10/22～10/23	〃	260	500
平成29年	第22回趣味の作品展	原田良昭	10/28～10/29	〃	295	373
平成30年	第23回趣味の作品展	近藤比呂史	10/27～10/28	〃	250	500
令和元年	第24回趣味の作品展	高野 孝	10/26～10/27	〃	242	450



同好会 30 年のあゆみ

	朝 の 散 歩 会	陶 芸	カ ラ オ ケ	パ ソ コ ン	緑 リ ズ ム 体 操	健 康 麻 雀	ボ ー リ ン グ	ウ ォ ー キ ン グ	健 康 体 操	銭 太 鼓	絞 り 染 め	ゴ ル フ	う た 声 サ ロ ン	み ど り 英 会 話	郷 土 の 歴 史	緑 健 康 太 極 拳	過去にあった 同好会
平成元年																	
平成 2 年																	鉢物・盆栽
平成 3 年																	H4年～H21年
平成 4 年	○	○															
平成 5 年	○	○															絵 画
平成 6 年	○	○															H4年～H22年
平成 7 年	○	○															
平成 8 年	○	○															卓 球
平成 9 年	○	○															H4年～H22年
平成 10 年	○	○															
平成 11 年	○	○															歩こう会
平成 12 年	○	○															H6年～H14年
平成 13 年	○	○															
平成 14 年	○	○	○														グランドゴルフ
平成 15 年	○	○	○														H4年～H13年
平成 16 年	○	○	○														
平成 17 年	○	○	○														詩 吟
平成 18 年	○	○	○	○													H21年～H27年
平成 19 年	○	○	○	○													
平成 20 年	○	○	○	○													
平成 21 年	○	○	○	○													
平成 22 年	○	○	○	○													
平成 23 年	○	○	○	○													
平成 24 年	○	○	○	○	○												
平成 25 年	○	○	○	○	○	○											
平成 26 年	○	○	○	○	○	○											
平成 27 年	○	○	○	○	○	○	○	○									
平成 28 年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
平成 29 年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
平成 30 年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
令和元年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

30周年 を記念して、歴代会長に執筆をお願い致しました

「創立20周年記念号：46号」では、初代～平成21年までの歴代会長に、寄稿していただきましたので、今回は続編として、平成22年以降に会長を務めていただいた皆様に、思い出や出来事、望まれる会の在り方等について、執筆をお願い致しました。

「 会長時に思ったこと 」



23期 地域 小玉 正氣

学生協議会役員を経て緑鯨城会会長になりましたが、私としてはこれまで通りの行事を踏襲するだけでなく、少しでも多くの社会貢献活動領域を増やそうと、要池周辺清掃活動を加えて始めました。かつ、緑区は会員数も多く・広いため、出来ればもっと活動領域増やそうと、例えば緑区を3ブロック（大高・有松ゾーン、鳴海ゾーン、徳重ゾーン）に分け、各ブロックの会員交流と社会奉仕活動の実施と提案をしましたが、受け入れられませんでした。他の鯨城会では実施出来ていることがなぜ、緑では？

勿論、他のボランティア活動も多く実施していますが。会員間の交流（旅行他行事、同好会活動等）が主で、余分なことはしたくないのでしょうか…。

また、会長時に代議員として鯨城会全体における行事あり方改革と共に、市の高年大学改革へ対抗策として、鯨城会のNPO法人化により、他府県（特に大阪府）を参考に少しでも安く良い高年大学にしようと代議員仲間と本部鯨城会役員会で大いに検討（緑鯨城会にも）しました。しかし、大半の区会の賛成が得られないと共に、各区会長は1年間任期では時間がなく、退任後1年間も検討しましたがダメでした。

相変わらず事なかれ主義の本部会長他各区会長では無理でしたね。また、現在の鯨城会運営については我々の時とは違い、会員間の同好会等は増え、相変わらずかなと感じています。

新しい一歩を踏み出そう！



「緑鯨城会を思う時」



25期 環境 近藤仙治

「緑鯨城会」は今年30周年を迎えました。この間、先輩、後輩各位の不断の熱意と協力で、今日に至っています。

記録では発足時の会員15名から始まり現在310余名、その発展は数字が示す通りです。近年、会員の新規加入者の減少傾向は寂しいと同時に仲間共通の大きな課題と思っています。日々、会の運営と会員確保の為、時の役員の皆さんが懸命に努力され頑張っておられる状況に接し改めて敬意を表します。

每期、卒業生の加入者状況は変化し、その対応の難しさは、役員の大きなテーマであると思います。現在、新規加入者状況は既報通り、その数は約「従来の半減」ですが、男女比構成を見た時、直近（28期以降）は、男女比各50%、（27期以前、男性59%、女性41%）、他に、同好会も15会と増え、会員数も男女比率は、女性54%、男性46%（ゴルフ除く）と女性の皆さんが、大勢参加されています。

数字が全てでは無いですが、やはり女性の皆さんにより活躍して頂く事が、緑鯨城会の発展に繋がるのではないのでしょうか。

女性会員の皆さん、宜しくお願いします。



「事業仕分けとその後」



神明社（地域の氏神様）正月の
焚き火のお守りを実施

26期 地域 山本捷一

チャレンジ&チェンジ

2011年10月 名古屋市事業仕分けにて、鯨城学園は廃止との決定が下された。

11月3日「名古屋市鯨城学園の継続を求める請願書」の署名活動を提案し「学園の存続を求める会」が学生会にて発足する。OB・家族・学園付近の飲食店や各種企業などに署名活動を開始。同月に請願書並びに請願書名簿を

市議会議長に提出、

翌年2012年2月 26期生による「アンケート」実施、「学園の継続を求める委員会」役員を選出、委員長に山本（私）が任命される。3月に25期生卒業後、アンケートを持って名古屋市河村市長に面談し、学園の存続についてアピールをした。4月には市役所内にて

「今後の高齢者の生きがい施策あり方検討分科会」が開催され傍聴する。5月には「あり方検討分科会」に名古屋市社会福祉協議会が、学園の設立から運営・活動報告や我々のアンケート結果等、学園の位置づけ、今後の対応策をパネルを用いて説明をする。

その後も「あり方検討分科会」の動向を見ながらアピール活動を継続し、結論は27期生へと受け継がれました。

当学園の継続は多くの施策や改革を行うことで、継続が決まりました。

卒業後は、緑鯉城会に籍を置き、ボランティア活動を中心に、過去の伝統を重んじ、新しい事へのチャレンジ(改革)を実行に移してまいりました。

総会のあり方、アトラクションの企画、今までとは一味違った、会員による会員の演芸会(クラブ活動などの発表)。会員の中には多くの特技を持っている人達があり、そんな会員を募集し、手作りのアトラクションを実施しました。今後も独自の発想で、それぞれに改革を提案し、より良い区会活動ができることを願っております。

特に例年10月に行われます「作品展」は20回目の節目となる発表会でしたので、新しい事にもチャレンジしました。

初代の会長から今年度の会長までのお名前を掲示。

又アンケートを廃止し、学区毎の来場者の分布図を調査、陶芸グループからの陶芸作品や、園芸部からは花の小鉢など無償提供していただき、来場者に配布(好評でした)。

緑区の区民まつりでは「賛助会員」として、先輩諸氏が大高緑地公園にブースを持ち、来場の子供達に塗り絵をしてもらい、それをキーホルダーにして配布し、大人気でした。

今回区役所をお願いして今後も、「協賛事業」として定期的に参画できるように承認して頂くことになり、会場(区役所の講堂)を優先的に借用できることになりました。

作品展は、区民まつり前日(土曜日に開催)まだまだ区会として多くの課題を抱えていると思いますが、地域に密着したボランティア活動や、新しいクラブ活動の展開、会員同士の親睦等々・・・さまざまな企画に積極的に参加し、健康で長生きできるよう頑張ります。

やってみて分かった役員効果



27期 国際 磯部 勝

鯉城学園を卒業して、緑鯉城会には入るつもりだったが、役員はやらずのんびり行事を楽しみたいと思っていた。入会してすぐに「27期は集まって下さい」と言う案内が来た。これは役員を決める案内だと思い、参加しなかった。すると後日電話があり「総務をやってもらえませんか？」と言う。総務は雑用だと思い、仕方なく引き受けた。

引き受けたものの土曜日は、外国人に日本語を教えるボランティアと被っており、役員会に参加しなかった。一年目の八月ごろ電話があり「いい加減に参加して下さい」と言う。仕方なくボランティアを一時休止して、役員会、運営委員会に参加するようになった。参加して段々分かってきたのは、将来の会長、総務長は総務から出すということだ。

「これは大変なことだ」と思ったが、あとのまつり。

その時点で総務には松本さんと二人だけ。二人で相談したが、松本さんはP Cができないので、私がP C業務の多い総務長を引き受け、松本さんに会長をやってもらうことにした。

ところが、二年目の春に、松本さんがアクシデントで倒れてしまった。早期回復を待ったが、回復の見込みがなく、止む無く私が次期会長を引き受けることになった。総務長にはボランティア委員会から大平さんを引き抜き、ボランティア委員長には小澤順子さんをお願いした。

そして、二年目の副会長として最大の仕事は「趣味の作品展」の実行委員長でした。

いろいろなトラブルもありましたが、何とかこなして、三年目の会長業務に突入。最初に考えたのは、役員の皆さんの負担を減らそうと、役員会と運営委員会を別の日にやっていたのを、第三土曜日の午前に役員会、午後に運営委員会をやって、1日でできるようにした。

しかし、月に1回しか会えないので、連絡を密にするために、P Cのメール網を整備して、連絡はメールで頻繁に行うようにした。

会長業務をやったことにより、緑鯢城会や鯢城会全体に、幅広く苦楽を共にした知人が増えた。

嫌々引き受けた役員であったが、今はやってみて、目に見えない財産が増えたと思っている。

意識改革



「思わぬ大ピンチでスタート!!」



28期 環境 花井 興亜

私は平成 29 年、27 期の磯部会長からバトンを受け、29 期の原田会長にバトンを渡しました花井でございます。

私が受け継ぎました緑鯢城会は、幸い諸先輩方がいろいろな面で基礎を固められ、各方面まで路線をひいて頂いていたお蔭で、大変有り難かった訳ですが、ただ一つ定例会議室の件で、従来の

主会場でありました徳重地区会館より、年度切り換え直前に、緑鯨城会の会議は人数が多く、消防法の関係で、40名までに人数を減らしてもらわないと、お断りしますと苦情を言われ、大ピンチ到来！。

区内のコミセン、色々な施設の会議室を調査し、区役所へ、緑社協へも出かけ状況調査したところ、緑区は会議室の争奪戦が起きるほど会議室が不足していることが判明する。又コミセンは地区の方と太いパイプで繋がれていることが判明し、毎月の定例では簡単に喰いこめないといわれる。

最初は駐車スペース、公共交通の便、食事処など諸条件を考え、併せて検討していましたが見つからず、窮地に追い込まれました。

最後は、今まで緑の無かったゴミ処理場の隣の片平ふれあいセンターを訪問し、会議室の稼働状況、申し込みのやり方等々の実態を調査し、又片平学区住民に優先権があることも判明し、諸条件は別にして、会議室を確保することを最優先し、切り替えに成功し現在に至っております。任期中での一番の出来事でした。

ピンチをチャンスに^{ooo}

片平ふれあいセンター



平成 30 年度会長として



29 期 地域 B 原田 良昭

河村市長の「高い税金を使っているんで卒業したら返してちょうよ！」の言葉を聞き当りまえに緑鯨城会に入会し、少しでも皆さんのお役に立てたらと考え、緑鯨城会に入会しました。

もちろん「帰してちょうよ！」だけでなく地域で多くの人と知り合いになりたいという考えもありました。

幹事となり鯨城学園で活躍したいと思っていましたが、少し使えるパソコンで先輩の仕事のお手伝いをしている内に総務となり3年目で会長を承ることとなりました。

会長として役員、委員の皆様と多くのコミュニケーション取ること、そのために効率の良い会を進め、より多くの方々に意見を出していただき、取りくみをすすめて参りました。

在任中感じたことは、全体のやるべき事が見えてこない、そのことが割とストレスとなったため全体を文書化することに努めました。

会員、委員、役員の皆様には助けていただいた事が多い一年でしたが、29期30期31期の皆様を中心にした良い関係で、良い仕事が出来たと思っています。

最近入会率が減少し、又役員を回避する方が多くなっていますが、多くの会員の方々の知恵を借りながら運営する体制を取っていけば、必ずうまく推進していけると考えます。

これからは会員数の増加でなく、活動の質を高めることに注力していただきたいと思います。



笑 + 和 + 輪

緑鯨城会30周年記念事業実行委員会の皆さんに、思いを寄せていただきました

令和元年度「魅力づくり委員会」の取組みについて



30周年記念事業実行委員長

31期 国際B 高野 孝

魅力づくり委員会のメンバーから多々提案された今年度の「テーマ」の中で、取り上げるとすれば「同好会の活性化」に対する取組みが挙げられます。

- ① 毎月、分科会及び全同好会代表者参加会の開催。
- ② 「趣味の作品展」開催日に、同好会16グループのPRポスター掲示による広報活動。
- ③ 本年度、同好会3グループが新規発足、42名の加入。
- ④ 令和元年10月1日現在の同好会活動及び16の同好会（サークル）会員状況を把握。

同好会加入状況

1人同時加入数	1加入	2加入	3加入	4加入	5加入	6加入	合 計
人 数	106人	32人	18人	8人	3人	4人	171人

緑鯨城会同好会会員数312人の内171人（55%）が同好会に加入し、1人で3以上の同好会に同時加入している人が、33人います。

会員にとって、同好会活動が、魅力的な存在である事は、間違いありません。

各同好会の共通課題として、後継者、指導者、活動場所などありますが、今年度を起点として、引き続き楽しい同好会活動の人員増加に尽力し、緑鯰城会の将来をより明るいものとしたいと願っております。

今後も変わらぬご協力ご支援をお願い申し上げます。

緑鯰城会 30 周年を迎えて



30 期 文化A 平田 秀

30 周年おめでとうございます。

30 年前といえば、日本の経済は、まだバブルで浮かっていた時代である。その時期に今ある高齢化社会を見据えて、鯰城学園が創立されている。その OB たる私たちが緑区に同好の士として集い、社会との繋がりが保ち続けられるとは、なんと素晴らしいことか！！

取り分け、その30年間のほとんどを海外で過ごした私にとって、この学園で“教養”・“教育”を身に付け、地域で幅広い仲間との交友関係を築くことができたことは、健康で楽しく元気に生きる糧となっている。

30 周年記念行事に参加を！！



30 期 地域 B 渋谷 稔

緑鯰城会は創立30年の節目を迎えました。

30 周年記念行事として「式典」「総会」「イベント」を準備しております。

30 周年の記念品として、会員には「絞り染め同好会」作成の絞り染めハンカチが会場で配布される予定です。

「イベント」では、

第1部…同好会関係の演舞他の出演

第2部…「歌声玉手箱」の来演。



歌詞をプロジェクターで投映して、皆様と一緒に大声で合唱し楽しんでいただきます。
緑鯰城会 30 周年を全員で楽しく祝いましょう！ 参加をお願い致します。

「30周年を迎えて・・・」



30期 美術 松山 泰雄

緑鯨城会に入会して良かったと思うことを挙げてみますと、まず近所・近郊に仲間や顔見知りが出来たこと。そして、行事や同好会で外出する時間が増えて、気分転換が出来ること。

また、地域参加委員であった学園時代に引き続き、活動に参加する機会が増え、クラブ活動で行っていたことが、緑鯨城会の同好会でも出来ることなどです。

緑鯨城会の活動内容や役割は、時代と共に変化していくものでしょう。

でも、いつの時代になっても会員間の対話と協調・協力が必要で、改善策を持ち寄り協議し、外部から見ても、魅力のある緑鯨城会を目指したいものです。

「緑鯨城会の動員力・組織力の期別委員会」



30期 地域A 福田聖太郎

期別委員の組織は、緑鯨城会の独自の組織ですが、現在19～32期までの正・副合わせ20人以上の規模で、運営されています。

振り返りますと、過去、大勢の委員に携わってこられた方々のご尽力により、緑鯨城会の行事・ボランティア等で、他の区に比べても圧倒的動員力を発揮し、日常活動では、期別単位での懇親会・計画的行事活動等による親睦を図り、緑鯨城会の活動力のベースを、構築して参りました。

今後は、会員規模が縮小傾向と言われる中で、期別委員会が更なる会員相互の連携強化を図り、緑鯨城会のあらゆる行事・活動における、活性化の中心となる事を期待しています。

期別の輪を広げよう





「30周年を迎えて」

30期 文化B 阪 文子

2020年はオリンピックイヤーです。
ラグビーワールドカップでは、リーチ・マイケル主将はかつてないレベルアップを図り、ワンチームで頑張ったとの事。
緑鯨城会は30周年を迎えます。
今までの歴史を紐解くと、先輩方の弛まぬ努力の結果によって、今があるのだと思います。
記念行事の1部では、同好会の多彩なアトラクションを楽しみ、2部では歌の玉手箱と一緒に歌いましょう。心に残る時間を過ごしたいと思います。
又、記念品として、絞りのハンカチ制作を絞り染め同好会の先生方にお願ひし、実行委員、ボランティアの皆さんも加わって協力し、ワンチームで作りました。



「30周年を迎えて」

31期 園芸 山田 正明

緑鯨城会に入会してもうすぐ2年となりますが、会の運営に関わる立場になって感じるのは趣味の作品展やクラブ同好会活動において、会員の皆様が大変活発に活動し、楽しんでみえるのがわかりました。
また、緑鯨城会では旅行、観劇等のイベント行事もあり色々な趣味、行事に参加し活動、チャレンジできる会であるということです。これからもこの素晴らしい会が益々継続発展できるよう今年は総務委員として、微力ながら尽力致したく、宜しくお願い致します。





「31期 園芸5人の仲間」

31期 園芸 山下 富和

私達園芸仲間は緑鯨城会に入会して2年目になり、それぞれ総務・広報・行事・ボランティア・期別委員を担当しています。

30周年を迎えた本会の記念に、趣味の作品展で来場者に、花の苗を提供する事になりました。種から苗を育てましたが、天候不順の為上手く育たなく、大変苦勞しました。

なんとか、来場者に花の苗を渡す事が出来、大盛況でした。此れからも、魅力有る緑鯨城会に貢献できる様に頑張ります。



緑鯨城会 30 周年によせて

31期 園芸 右高 茂夫

平成元年に20数名で創立された緑鯨城会も、平成31年には300数名の会員数になり大きな組織になった。

会員の情熱、協力により運営されてきたことで、30周年を迎えることが出来たと思います。

しかし会員数は、平成26年を頂点に、放物線を描くように減少しています。

理由は色々あると思いますが、放物線を平行線にするため同好会、ボランティア、同期会等に参加して、「楽しかった」「少しは役に立ったかな」「友人が増えた」などの言葉が、自然に出てくる組織であればと思います。



つなげよう 友の輪 知恵の輪 緑鯨城の輪

できることを、できるときに、出来る範囲で、

会員皆さんの協力をお願い致します！

緑鯨城会 30 周年を迎えて



31 期 地域B 金原 孝夫

早いもので、一昨年4月高年大学を卒業し、緑鯨城会に入会してからもう2年が経ちます。この2年間は、行事委員として「駒ヶ岳ロープウエー」と「浜岡原子力発電所」等3回のバスツアーや、「ヤマザキマザック美術館」と「大須演芸場」での芸術や演芸鑑賞などの行事のお手伝いをする中で、緑鯨城会会員の皆さん相互の親睦を深めるとともに、社会や自然・歴史に対する視野を広める手助けが、少しは出来たのではないかと思います。今年は緑鯨城会30周年を迎え、諸先輩の果たしてきた実績を引き継ぎ、「明るく、元気に、朗らかに」を合い言葉に、魅力ある楽しい緑鯨城会を目指して頑張りますので、皆様のご協力とご指導をお願いします。



千 畳 敷 記 念 写 真



浜 岡 原 子 力 発 電 所

30 周年を迎える鯨城会へ入って



31 期 文化A 上野 英生

人生とは出会いの連続、まさにこの言葉にぴったりなのが鯨城です。多くの人、場所、機会など出会いを得てきました。卒業後も鯨城会に入ってさまざまな機会を与えてもらっています。旅行、大須演芸場など初めてのところとの出会いがありました。地震対応の家具転倒防止ボランティアとの出会いでは我が家の対策に結びつきました。多くの皆様に助けられて、いい感じでの変化のある日々を送っています。もっと多くの人にも、この出会いを喜んでもらえたらと思います。今後ともよろしくお願いします。



緑鯨城会 30 年：次への一步を踏み出そう

新入会員の減少と高齢化の先は…

31期 生活 A 奥野 幸泰

過去の資料を読むと、草創期～黎明期～発展拡大期に、高い志と努力の跡が覗える。

しかし、近年においては所期の志を受け継ぐ会員が少なくなり、運営全体への意識も薄れ、地域と会員のニーズが乖離、活動の硬直化によって、魅力が薄れてしまったのではないだろうか？

無関心、活動への参加者減、会員の一体感、協力意識も薄れ、さらに新規入会者が減少することによって、負のスパイラルに陥りつつあるように思う。

理念や目的が曖昧になり、このままでは組織の衰退を免れることができないのでは？と危惧される。

会員の意識改革が望ましいが、区会単独では

難しい。

鯨城学園・鯨城会が連携し、現状を俯瞰した人材育成教育に取り組むことを期待したい。

さて、本会単独では何が変わえられるか？

他人にお任せ主義では、役員が疲弊し、益々継承が困難になっていく。

現在の運営組織と活動をもう一度全て見直し、会員や地域のニーズに合った「NEW 緑鯨城会」に変わらなければならない、そんな過渡期を迎えているのではないか？と思う。

多様化・効率的、そして利己と他利のバランスがとれた、多数参加型の穏やかな運営が望ましいと考えるが…。 “改革への一步”を踏み出す年になることを期待したい。

言う名人より行う名人に…

言うを成し誠を尊ぶ緑鯨城会へ…



* 善いことを進め、善い成功例を全員で共有し、次への一步を！…

16区フェスティバルを振り返って



29期 文化B 水谷 敏夫

まずは、参加していただきました緑区の皆様と、御協力いただきました係の方々に、感謝申し上げます。

楽しんでいただけましたでしょうか？

さて、16区フェスティバルは来年度も実施を予定しているとの事で、益々楽しんでいただけますね…。

令和元年の実施場所は、稲永スポーツセンターでしたが、今回は東スポーツセンターとの事。地下鉄「矢田名古屋ドーム前」の近くで便利になります。

参加していただける人数も多くなると予想されますので、運営される方もやりがいがあると思います。

今回のフェスティバルでは、器材係を担当させていただきましたが、各部・係（本部・運営・競技・器財）の連携も非常に良く、スムーズな進行であったと思っています。

有り難うございました。良かったです。バンザイ！。



大須演芸場 2月寄席鑑賞会 令和2年2月4日（火）



今年も恒例の大須演芸場2月寄席に、33名の会員が鑑賞に訪れ、落語に講談・漫才に曲独楽と、大いに笑って、楽しい時間を過ごしました。

演芸場は、私達緑鯨城会とシルバー、演芸場友の会と三つの団体さんで大盛況でした。

東京・大阪・地元名古屋の多彩な出演者が、大活躍でした。

緑鯨城会 行事委員会

令和元年12月

寄贈 & 施設へお届け

雑巾ボランティア活動

会

員の皆様から寄せられた雑巾やタオルを社会福祉協議会に寄贈、仕分け作業後に施設へお届けする「雑巾ボランティア活動」はH15年から始まり、17回を数えております。

本年も緑鯉城会で、善意の1,200枚余が集まりました。

12月25日に、本会寄贈分と他の団体分を合わせた、合計2,000枚を仕分けして、31ヶ所の施設へお届け致しました。

感謝の言葉

お届けした施設の皆さんからは、「毎年ありがとうございます。一枚々縫われるのは大変かと思いますが、車椅子を拭いたり、掃除に使用したりとか、ありがたく活用させていただきます。これからもよろしくお願いいたします……。」など感謝の言葉をいただき嬉しくなりました。

そして、作ってくださった皆様のご苦勞を思うと、胸にこみ上げてくるものがありました。

今の時代、本当に役に立っているのかな？と危惧する声もありましたが、そんなことはありません。お届けして本当に良かったと思いました。（ボランティア委員会）

令和元年12月25日（水）
13:00～
緑社会福祉協議会研修室で
寄贈品の雑巾・タオルを仕分け
後、区内31施設へお届け
しました



緑社会福祉協議会より感謝状拝受



アトラクション出演の皆様

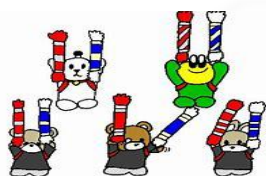
銭太鼓みどり同好会



平成 28 年 5 月から発足して今年で丸 4 年が経ちました。

毎月第 2 第 4 土曜日緑福社会館で午前 10 時～11 時半まで練習をしています。

毎月 1 回は施設や婦人会などでボランティア活動をしています。最初の頃はこちらからボランティアをお願いしていましたが、最近は先方から頼まれます。皆さんに多く知ってもらえ、とても嬉しく思っております。これからも力合わせて頑張っていきたいと思います。♪♪♪



フラ・ガーデニア

フラダンスの「ガーデニア」と申します。

有松コミュニティセンターで、週 1 回先生の下でレッスンを受けております。

フラダンスは、ゆるりとした有酸素運動で、ハワイの美しい海と輝く太陽を感じながら、音楽に合わせて踊ります。

最高のリフレッシュではないかと思えます。

平均年齢は 70 oun 歳ですので、どうか優しい目でご覧下さい。



アトラクション出演の皆様

健康体操

「楽しく運動をして、心も身体も健康に・・・」そういう思いの「緑鯨城健康体操」です。
みんなで集まって体操をして、いつまでも今の健康を保ち、いつも笑いの絶えない楽しいサークルでありたい！

＼(^_^)(^_^)／

お陰様で明るく素晴らしい先生に恵まれて、素敵な仲間達が集まっています。

会員は 19 期から 32 期の方までの 40 名、皆さんお元気です



オカリナ

手話とオカリナの、コラボでの参加です。

歌に手話をつけるのは難しいですが、歌を楽しく”見る”ことができるパフォーマンスを、またオカリナでは、皆さんがよくご存じのミュージカルを一緒に楽しんで頂ければと思います。



アトラクション出演の皆様

リズム体操

リズム体操の開設はH24年に始まり、丸8年になりました。
当初から鯨城学園講師、池田靖代先生の指導を受けています。
リズム体操は「気楽に」「無理なく」「楽しく」をモットーに集まり、活動できる居場所である健康体操で、卒業生の交流場として楽しみながら親睦を深め、健康維持・向上を図ってきました。仲間づくりのチャンスです！
私達と一緒に、心豊かなシニア生活を…先ずは体験からOKです。



うた声サロンみどり

緑鯨城会の紳士（ジジ）淑女（ババ）の皆さん、青春してますか？
うた声サロンみどりでは、青春真ただ中のジジ・ババが、明治・大正・昭和・平成の唱歌、歌謡曲、フォークソングなど昔なつかしい歌を、みんなで歌って楽しいひとときを過ごしています。
懐かしい歌を大きな声で歌って、あの胸キュンなころを思い出しましょう！





短歌・俳句・川柳

短歌

湯の宿で人情芝居楽しめり
戦後の田舎祭り懐かし

陽が沈み鈴鹿の山のシルエット
冬の一日静かに過ぎる

二九期 文化A 熊田 八郎

トンネルを抜けて鏡湖山肌の
紅葉写す水面は錦

三十期 文化B 阪 文子

大晦日響き下りし鐘の音

北の山から我が家を包む

信長を追って頼朝みつけたり

なんと名古屋は四英傑だ

三二期 文化A 上野 英生

俳句

山門に残る紅葉がきわだてり
参道に山茶花開く紅白で

二九期 文化A 熊田 八郎

川柳

川柳も

忘れないでね

待ってます

広報

三二期 園芸 河村 興彌



au 無料スマホ講習会開催のお知らせ

日 時：2020年3月25日

場 所：緑社協研修室 13:30～15:30

定 員：30名

申込先：高野副会長

Fax 052-747-1788

携帯メール 080-5162-3408



運営委員会だより (11月～1月)



総務長 渋谷 稔 (30期 地域B)

第8回運営委員会 (11月16日)

1. 協議事項 (承認)

- ① 第2回16区フェスティバル…役割分担とリーダーの決定。
- ② 各月「運営委員会だより」の鯉城ホームページへの掲載について
従来の数ヶ月分を「ふれあい」に掲載では遅すぎるので、速やかな伝達手段として鯉城ホームページを活用する。改善・充実を図りながら会員に利用を推奨促進する。11月度より実施。

2. 報告事項

- ① 作品展…入場者数 450名。入場者数・出展者数が年々減少している。
- ② 作品展会場での共同募金…7千円ほどの募金がありました。協力ありがとうございました。
- ③ 雑巾ボラ…目標の1,000枚が達成しました。協力ありがとうございました。

第9回運営委員会 (12月21日)

1. 協議事項

- ① 役員構成…現在の役員構成枠＝卒園3期(3年)を5期に変更の必要がある。
新規入会者の減少などにより、今までの組織運営が困難になってきた。(早急に検討)
- ② 33期生対象の区会説明会(1月24日)…役割分担・進め方を決定。(承認)

2. 報告事項

- ① 幹事会…第3回16区フェスティバル 令和2年11月18日(水) 東スポーツセンター決定
- ② 広報…「ふれあい」76号作品展特集号初の全ページカラー化…評判良好(各役員・運営委員談)
- ③ ボランティア…雑巾ボラ…目標を超える1,200枚が集まりました。協力ありがとうございました。12月9日(月) 緑区役所で贈呈式が挙行政され、緑社会福祉協議会より感謝状を頂きました。
12月25日(水)に緑区内31施設に配布の予定です。
- ④ 同好会…10月現在 会員312名の内、170名 約55%の方が同好会に参加しております。

第10回運営委員会 (1月18日)

1. 協議事項

① 会則の改定

- | | |
|------|---------------------------------|
| 第1条 | 事務局は会長宅…所在地は会長宅(郵便局からの指示) |
| 第10条 | 役員・委員の任期は1年とし、学園卒業後3年…卒業後5年 |
| 第25条 | 期別変更の項目を追加 再入学者の期別＝会長宛期別変更願いを提出 |

期別変更することができる。ただし、役員経験者はこの対象としない。

(上記項目及び期別世話人制度等を見直し2月の運営委員会で承認を得る)

① 次年度の役員・運営委員の体制

32期 5名の役員が内定、ボラ・会計・総務・幹事が未決である。

(2月15日の役員会までに目途をつける。2月8日緑図書館で打合せの予定)

2. 報告・連絡事項

① 30周年記念品…絞りハンカチ製作済、袋詰め・挨拶文挿入で完了。

② au 無料スマホ講習会 3月25日 緑社協研修室 13:30～15:30 申込先 高野副会長

Fax 747-1788 携帯メール 080-5162-3408

自由投稿

第24回趣味の作品展「甲冑」について



甲冑部門出展責任者 31期 国際B 高野 孝

甲冑の出展は、16区会（鯨城会）のうち、唯一緑鯨城会だけの出展作品で、毎年豪華絢爛に展示され、作品展に華を添えています。

初出展は、平成22年「第15回趣味の作品展」からで緑区在住の皆さんの一般出展です。作り方は、厚紙をアイロンの熱で圧縮して、形を作り表と裏に布を貼り、ペンキ、ニス塗りで仕上げ、最後に紐と金襴布で飾り付けます。製作日数は、30日程かかるそうです。ちなみに、甲冑の数え方は、一領、二領（ニリョウ）と数えるそうで、今回は四領の出展でした。

同好会投稿

「朝の散歩会」みんなでランチ（ガロンにて）

2020（令和2）年1月25日（土）

☆ 食欲旺盛、ランチに集中、満腹ちょっと一休み、さあ健康100まで一直線！

☆ 3月から新たな気持ちでスタートしましょう。



朝の散歩会で今日も元気に 健康100まで

平成4年7月15日 発足

歴史ある同好会です

ウォーキング同好会活動報告とこれからの予定

連絡先 阿部花井 090-4183-8880

お知らせ

令和2年4月1日よりウォーキング同好会の代表が瀧澤克彦(26期)から阿部花井(28期ハイキング部)にバトンタッチすることになりましたのでご報告致します。

令和元年11月30日 大池公園～聚楽園大仏ウォーキング

歩行距離 6K 22期～32期 18名参加

名鉄金山 9:30 発⇒9:44 太田川着 名鉄太田川駅前で軽くストレッチをし、雲一つ無い青空の下 大池公園を目指して

出発しました。大池公園からは、大窪公園、加家公園、聚楽園公園と紅葉が続く快適なハイキングコースでした。聚楽園公園内の「しあわせ村じゅらく」でランチをしてから大仏さん(像高 18.79m)の前で記念撮影した後、13時20分に解散し、大高まで歩く4人と別れました。



—2020年(令和2年)春のウォーキング案内—

3/30(月) 五条川花見ウォーキング 難易度 1 歩行距離 6Km 弁当持参又は屋台の食べ物

集合場所・時間: 令和2年3月30日(月) 8時15分 地下鉄鳴子北駅ホーム後方(ホーム柵 15番)集合

アクセス: 鳴子北 8:21 発⇒8:36 御器所(乗換)(柏森行)8:43 発⇒上小田井(240円)⇒岩倉 9:18 着

行程: 岩倉駅～五条川流域を散策

4/30(木) 東山一万歩ウォーキング&ランチ(植物園内) 難易度 1 歩行距離 6Km

集合場所・時間: 令和2年4月30日(木) 10時00分 地下鉄東山公園駅 3番出口集合

行程: 東山一万歩コース+植田山

5/30(土) 海上の森ウォーキング 難易度 2 歩行距離 7Km 弁当持参

集合場所・時間: 令和2年5月30日(土) 9時30分 地下鉄藤が丘駅改札口集合

行程: 愛知環状鉄道(リニモ)藤が丘～八草駅(往復 760円)～南門～愛知海上の森センター～里山サテライト～三角点～南門～八草駅

毎回の 注意事項

服装・持物 動きやすい服装・帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・ストック・(*弁当)
前日午後6時52分天気予報で9時～15時まで雨量が50%以上は中止です!!

スマホ・パソコンで見る緑鯨城会ホームページ

鯨城学園検索 → 鯨城会 → 緑鯨城会

各区
守山区 守山鯨城会
緑区 緑鯨城会
名東区 名東鯨城会
天白区 天白こじょう会

2020.01.07
郷土の歴史を楽しむ会1月の活動

2019.12.25

2月スケジュール

日付	曜日	時間	行事	場所
2月4日	(火)	10:30~13:30	定例会	大須南公園
2月4日	(火)	18:30~19:30	新海池公園清掃ボランティア	新海池公園周辺
2月14日	(金)	12:30~	33期生入会受付、青園環境クラスB	鯨城学園
2月15日	(土)	10:00~12:00	役員会	片平ふれあいセンター
2月15日	(土)	13:30~15:00	運営委員会	片平ふれあいセンター
2月19日	(水)	12:30~	33期生入会受付、陶芸 クラスA	鯨城学園
2月23日	(日)	10:00~11:00	新海池公園清掃ボランティア	新海池公園周辺
2月27日	(木)	9:00~15:00	「ふれあい」77号 記念資料出版	緑社会福祉協議会
3月8日	(金)	9:00~15:00	「ふれあい」77号 配布	緑社会福祉協議会

※ 緑鯨城会ホームページから情報発信、スマホ＆パソコンを利用した情報の共有化HPは情報の共有、迅速な伝達、会の一体感を形成していくうえで、必要且つ有効なツールだと思います。 活用していくための提案を是非お寄せ下さい。

編集後記

77号は、30周年記念特集号と捉え「30年の歩み」をテーマに、編集致しました。「30年の歩み」編纂につきましては、資料の分読や確認に時間を要し、苦勞しました。しかし、振り返ることにより、先輩諸氏の志の高さや、積み上げて来たご苦勞に、改めて触れることができました。

30周年記念事業実行委員会の皆さん、寄稿に御協力いただきました皆さん、有り難うございました。

ただし、今回残念だったのは、「30年への提言…等」の一般投稿が「ゼロ」だった事です。

- ・これは、現状に充分満足しているからでしょうか？
- ・何かを言っても変わらない、あきらめでしょうか？
- ・無関心なののでしょうか？

広報委員会

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp
 30期 河内 猛男 090-2182-0005 tk9638@xj.commufa.jp
 31期 河村 興彌 090-2267-4141 ttymserkwmr410@yahoo.co.jp